

利府町文化交流センター モニタリング評価【総括評価シート】

利府町

評価年度

令和 5 年度

1. 基本情報

公の施設名	利府町文化交流センター
指定管理者名	利府みらいクリエイティブ（代表企業：丸善雄松堂株式会社、構成企業：アクティオ株式会社、株式会社東急コミュニティー）
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設設置条例	利府町文化交流センター条例(令和元年条例第24号)
施設の設置目的	町民の文化芸術活動及び交流の場を提供するとともに、教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって町民の教育と文化の発展及び福祉の増進に寄与すること。
施設概要	場 所 : 利府町森郷字新椎の木前31番地1 敷地面積 : 22,403.61㎡ 建物概要 : 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階一部3階建て、地下なし 建築面積 3,869.41㎡ 延床面積 5,308.01㎡ 駐車場 約380台（内おもしろい駐車場6台） 駐輪場 約70台（37.11㎡） 主な施設 : 利府町図書館 1,206.05㎡ 利府町公民館 556.30㎡ 利府町文化会館 3545.66㎡（共用部分含む）
施設所管課	利府町教育委員会 教育部 生涯学習課

2. 管理実績(年間)

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来館者数合計(人)	144,663	230,333	242,730		
利用料金収入合計(円)	8,671,450	14,178,350	13,651,560		

3. 成果指標の達成度

指標 1

指標名(単位)	年間利用者（来館者）数の増加（人）
指標式と指標の説明	令和3年度末時点で来館者数を147,000人以上とし、次年度から令和7年度まで来館者数の増加を図るものとする。 なお、総合計画において令和12年度までに155,000人以上とする目標を掲げている。

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(人)	110,250	148,000	149,000	150,000	151,000
実績値(人)	144,663	230,333	242,730		
達成度(%)	131%	156%	163%	0%	0

指標 2

指標名(単位)	利用登録団体数の増加 (団体)
指標式と指標の説明	令和3年度末時点で利用登録団体数を143団体以上とし、次年度から令和7年度までに団体数の増加を図るものとする。 なお、総合計画において令和12年度までに158団体以上とする目標を掲げている。

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(団体)	143	145	147	149	151
実績値(団体)	429	405	185		
達成度(%)	300%	279%	126%	0%	0

指標 3

指標名(単位)	年間貸出冊数 (冊)
指標式と指標の説明	利府町総合計画「生涯学習の推進」における指標として、令和7年度までに、町民ひとり当たりの図書の年間貸出冊数を8.5冊以上という目標を掲げている。 なお、総合計画において令和12年度までには12冊以上とする目標を掲げている。 しかし、上記は人口変動の影響を受けるため、指定管理者の評価には貸出冊数を目標値とし、令和7年度まで増加を図るものとする。

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(冊)	208,000	249,800	274,800	302,200	332,500
実績値(冊)	194,856	285,718	302,619		
達成度(%)	94%	114%	110%	0%	0

評価 (5段階)	評価理由
S	上記指標の達成度の平均が「1 3 3 %」となるため、「S評価」となる。 来館者数、図書の貸出数については順調に数値を伸ばしており、様々な事業の効果が現れていると評価できる。昨年度まで目標値を大幅に超えていた指標 2 について数値が落ち着いてきており、引き続き状況を注視していきたい。

懇話会意見	全ての指標において高い達成度になっており高評価である。当初設定した指標が、総合計画に基づいているものだが、一部項目によっては、目標値と実績値に乖離がみられ、現状を踏まえた指標の見直しが必要な項目もある。このため、次期町総合計画の中間見直しの際には、実績に見合った目標値になるように見直すことも検討すべきと考える。
-------	--

4. 事業の実施状況

(1)指定事業（全26事業より抜粋）

①図書館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
おはなし会	毎週水曜1回 隔週土曜1回	曜日別に対象を分け、絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊びや簡単な工作などを行うおはなし会を実施。
図書館ツアー	都度	ツアー形式で図書館内を職員が案内。希望があれば随時開催することを基本に、開館記念月である7月是一般募集を行い実施。学校関係や他図書館、自治体などの見学もあり。
リサイクルブックフェア	4・10月2回	町民の図書館利用の促進を目的に、図書館で保存していた資料をを無料で提供する。図書館内の除籍資料が少なくなったことから、利用者からも寄贈資料を募集した。
ボランティア養成講座	6・1月2回	ボランティアの方々への研修会実施の他、交流会も実施。ボランティア同士の情報交流の場となり、加えて図書館運営に対する意見もいただいた。また、今年度は1月に、宮城県図書館の出前講座を利用しワークショップを開催した。
出張おはなし会	1・2月2回	各施設に図書館職員が伺って、施設に通う児童や利用者に向けておはなし会を実施。参加者へ図書館利用方法や育児支援コーナーもPRした。町内の施設で事業を行うことで、各施設と連携を深めることができた。

②公民館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
長期休暇こども宿題お助け教室	8月・12月	夏休みや冬休み期間中の小学生の学習習慣の維持、学習課題の解決（夏休みの宿題等）を目指す場を提供。長期休暇の宿題や課題への取り組みを支援する内容とした。
利府の産業体験	7月・11月	子どもたちが地域にある産業を体験することで、地域への愛着と誇りを涵養することを目的とする。新幹線総合車両センター見学と仙台筆筒（櫛産業）見学・ワークショップを実施。
利府町産の食材で世界料理教室	7月・9月 10月・12月	留学生と異文化交流を行いながら、地域食材の新たな魅力を発見すると共に、地域住民同士の交流の場を提供する。ブルキナファソ料理ではNHK、河北新報社の取材有り。
セカンドライフ応援講座	2月～3月	人生の余暇を楽しむことを目的とし、陶芸による自己表現でぐい呑みを制作。酒器で地元酒を楽しみながら、日本酒の魅力について酒蔵2社より講師を招き実施した。
こどもの歌声教室	6月～3月	町内小中学生が歌を通して芸術文化に接する機会と発表の場を提供。文化会館事業と連携し、コンサート、文化祭、イルミネーションイベントに出演し、歌うことの楽しさ、チームワークの素晴らしさを体感することができた。

③文化会館 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
エントランスコンサート	5月・6月 8月・9月 10月・12月 2月	年6回エントランスホールの開放的な空間で来館者に広く楽しんでいただく無料イベント。リフノスイルミネーション点灯事業募金箱を設置し、事業への理解を図る。アウトリーチとして役場町民交流館にて9月に初開催した。
魅惑のクラシック～ロマンティックは お好き？～	5月	国立劇場ソリストの実力派オペラ歌手による歌唱と有名ピアニストによる公演。ナビゲーターによってオペラを親しめるよう工夫をこらした。座席販売数77枚。当日は96人（大人94人、子ども2人※内招待席19）観覧。
リフノス2周年 花乱舞～part2～	7月	若き伝統芸能にてさらにリフノスの成長をお祝いする公演。1周年記念同様、完売御礼となった。座席販売数312枚。当日は308人（大人297人、子ども11人※内招待席16）観覧。

ティコボのガラタ音楽会	8月	ゴミとなるような物を楽器に変え、SDGsの観点や普段と違った楽器の演奏を楽しむ。「こどもの歌声教室」受講生とのコラボレーションを楽しんだ。座席販売数143枚、当日は153人（大人98人、子ども55人）観覧。
目指せ！未来の〇〇企画	1月～3月	少年期住民参画組織養成講座として、子どもたちの将来の夢や選択肢を拡げることが目的とし、アナウンサー編と舞台芸術家編の2編にてプロの指導を経て朗読や照明演出等の成果発表会を実施。村岡恵理氏講演会と同時開催した。

(2)提案事業（全30事業より抜粋）

主な事業名	実施時期	内容
読書スタンプラリー	7月	中学生以下が対象。図書館に来館し、本を借りるとスタンプがもらえ、5個貯めた方には景品をプレゼントした。期間中は、貸出数ともに増加し、図書館利用の促進に繋がった。
まちなか図書館	10月～	図書館に行きにくい方へも、読書機会を提供することを目的に今年度は町内の高齢者施設ロイヤルケアセンターに図書館資料を配置した。
「新春もちつき会＆赤ちゃんハイイレース利府町長杯inリフノス」	1月	地域住民参加型の多世代交流を目的とする。ハイハイ期とヨチヨチ期の2部門でレースを実施し、家族の繋がりが子育てに温かい地域づくりのPRができた。町子ども支援課との共催。河北新報社の取材有り。
リフノス「シンボルツリーの灯」イルミネーション事業 ※利府駅前との共催事業	12～1月	「利府駅前イルミネーション」とリフノス「シンボルツリーの灯」事業との共催にて町全体でイルミネーションを盛り上げ、冬の風物詩として認知度を高めることを目的とする。同時開催のイントロクイズ大会は参加者先着200名の受付が20分で
自衛隊音楽隊コンサート	10月	陸上自衛隊第6音楽隊の協力を得て、利府町内児童・生徒が音楽に触れ合う機会を提供。第一部は町内学校在籍の児童生徒、町内在住学生の優待回、第二部は一般の二部制とし、応募多数のため抽選の上、満席にて開催。

(3)自主事業（全2事業）

主な事業名	実施時期	内容
RIFUモニュメントフォトコンテスト	12月	来館者50万人達成記念として設置された「RIFU」モニュメントを新たな映えスポットとして周知、楽しんでいただけることを目的とし、Instagramを利用したフォトコンテストを開催。28作品の応募があった。
カフェレストラン・アリーノ	通年	営業日数306日。定休日及び臨時休館時以外はすべて営業。通常営業の他、年間通して図書館、公民館との連携事業を実施した。

評価（5段階）	評価理由
A	開館3年目となり、図書館、公民館、文化会館の各事業にも確実にリピーターが増えてきていると評価することができる。一部、事業完了が年度を超えてしまったものがあつたが、そのほかは計画通りに事業を行っている。また、追加事業として復興支援コンサートやフォトコンテストを実施するなど施設全体を有効に活用した運営をしていると評価できる。

懇話会意見	長年続いた、コロナウイルス感染症の影響も落ち着きを見せ、数年、休止を余儀なくされた事業についても再開したこともあり、確実に利用者が増えてきている。各部門ともに、時代に即した形で順調に事業が進められており、高く評価できる。また、民間事業者の社会貢献事業を活用した講座の実施などの工夫もみられた。今後も民間のノウハウを生かした事業展開を望む。
-------	---

5. 利用者の満足度

(1)利用者満足度調査

調査手法/回答数	施設利用者アンケート調査の実施 / 人
目標値の基準	施設利用者を対象にアンケート調査を実施し、設問「施設の設備・サービスについて満足しているか」総回答に対する「満足している」「どちらかという満足している」と回答した割合の小数点以下第2位を四捨五入した数値を実績値とする。 (目標値80%は募集時の提案書記載の数値)

項目(単位)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)	80%	80%	80%	80%	80%
実績値(%)	75%	84%	88%		
達成度(%)	93%	105%	110%	0%	0

(2)その他の取り組み

取組事項	時期	内容
事業ごとアンケート	都度	各館、事業の参加者にアンケートをお配りし、率直な感想をいただいている。集計結果を職員で共有し、次年度の事業内容や日々の運営に反映させている。
お客様の声	都度	総合受付に「お客様の声」ボックスを設置。いただいたご意見やご要望は施設全体に共有している。
Webサイトからのお問い合わせ	都度	施設Webサイトのお問い合わせメールフォームから随時お問い合わせを受け付け、担当者より回答を差し上げている。

評価（5段階）	評価理由
S	上記指標の達成度の平均が「110%」となるため、「S評価」となる。 今回の実績は、指定管理者において実施した令和5年12月のアンケート調査の結果を反映している。令和4年実施の際は回答数が156件と少なかったが、今回は306件と回答数が倍増しており、その中でも高い評価を得ている。

懇話会意見	各種事業を実施事業ごとの参加者アンケートや、施設利用に関する利用団体アンケートを実施するなど、積極的にお客様の満足度を把握し、改善に努める姿勢がみられ、高評価につながっている。今後も引き続き、ニーズに即した事業展開を図ってほしい。
-------	---

6. 経営状況

(1)施設の収支概要

単位：千円

項目	令和4年度決算	令和5年度決算	令和4年度・令和5年度決算比
収入（a）	246,067	237,629	-8,438
指定管理料	225,835	221,580	-4,255
利用料金収入	14,178	13,652	-526
（うち、減免補填額）	(2,888)	(2,822)	(603)
事業収入	4,532	1,584	-2,948
その他の収入	1,522	813	-709
支出（b）	233,470	226,630	-6,840
人件費	110,358	106,247	-4,111
事務事業費	60,125	55,575	-4,550
維持管理費	62,869	64,661	1,792
その他の支出	118	147	29
収支（a）-(b)	12,597	10,999	-1,598
備考	光熱水費の実績 22,375,239円	光熱水費の実績 21,657,714円	

※ 光熱水費については、収支のほかに指定管理者が立て替え払いしたのち、町で補填している。

(2)指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	提出された最新決算書からは、指定管理者である利府みらいクリエイティブの経営母体である各社の財務状況に支障は認められない。
------	--

評価（５段階）	評価理由
S	総収支が黒字、指定管理料以外の独自収入は16,049千円で、総収入の7.9%にあたる。昨年度は文化庁からの補助金による大型事業があり、全体的に金額が増加していたが、今年度は落ち着いたものと考えられる。

懇話会意見	共同企業体を構成する３社ともに、経営状況は良好であり、安定している。事業の企画にあたっては、前々年度、文化会館事業に国の補助を活用した事例のように、今後も常に支援制度の情報を共有し、積極的な補助活用を推進し、独自財源の確保に努めてほしい。
-------	---

7. 管理業務の履行状況

検査方法	利府町教育部生涯学習課職員が、現地調査による資料や施設を確認し、実施した。 また、詳細確認は指定管理者へのヒアリングを実施した。
実施時期	令和5年7月、10月、令和6年1月、4月 (年1回以上実施)

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正	
危機管理	適正	
人員配置・地元活用	適正	
現金管理	適正	
会計・経理	適正	
情報セキュリティ	適正	
情報公開・個人情報保護	適正	
町への報告事項・事前承認等	適正	

加点事由	具体的内容
無	

評価（5段階）	評価理由
A	指定管理3年目となり、安定した管理運営がなされている。数か月に一度程度、不審者情報等の報告があるが、警備体制を強化するなど適切な対応がとられていると評価できる。

懇話会意見	指定管理で3年経過し、これまでの経験から培ったノウハウを生かしながら、安定した管理運営が行われている。施設管理面においては、隣地の区画整理事業により、複数の商業施設が立地し、通過交通の増加など、大きく環境が変わってきている。施設利用者の安全確保については、これまで以上、万全を期してほしい。
-------	---

8. 指定管理者の自己評価

自己評価点数	成果指標となっている、来館者数、利用登録団体数、図書資料貸出点数に関して、すべて目標値を上回ることができた。 また、様々なメディアへの積極的な働きかけを行い、「リフノス」のPRと集客につなげることができた。 施設管理においても、適切な館内環境維持のため、掃除ロボットの導入や館内の細かな室温調整などにより電気使用量の抑制に努めた。
90	
自己総合評価	
S	

9. 最終評価

総合点数	開館3年目となり、管理運営も安定している。ほぼ全ての事業が予定通りに実施できたこと、成果指標の達成状況、事業の実施状況、経営状況いずれも高い評価となった。昨年度と比較して利用者アンケートも周知方法を見直し、回収件数を増やしている。 引き続き、施設の設置目的の達成に向けた施設の管理運営に努めていただきたい。
90	
最終評価	
S	

成果指標の達成度 【S】

事業の実施状況 【A】

利用者の満足度 【S】

経営状況 【S】

管理業務の履行状況 【A】

懇話会意見	町としての評価も高く、年を追うごとに評価点数も上がっている。これは、指定管理者側で、利用される方々の声を積極的に取り入れ、改善しながら事業展開を図ってきた成果と捉える。今後も民間ならではのノウハウを生かしながら、良好な管理運営に努められ、情報発信に努め、ひとりでも多くの町民に図書や文化芸術に触れてもらえる施設として、さらに成長してほしい。
-------	--